

4 年	外国語活動	「お気に入りの場所をしょうかいしよう」	4 時間
単 元 の 目 標	◎教室名や教科名、道案内、自分が気に入っている場所を伝え合う活動を通して、英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付き、道案内をしたり自分が気に入っている場所を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。[知識及び技能] ○世界と日本の学校生活を比較して、共通点や相違点に気付くことができる。[知識及び技能] ○相手に配慮しながら、道案内したり自分が気に入っている場所を伝え合ったりすることができる。[思考力、判断力、表現力等] ○相手に伝わるように工夫しながら、道案内をしたり自分が気に入っている場所を伝え合ったりしようとしている。[学びに向かう力、人間性等]		【到達目標】 達成すべき(児童が獲得すべき)具体的な内容や能力など。達成度を数値等で測定可能。
単 元 末 に お け る 具 体 的 な 児 童 の 姿	A 相手の英語表現を聞いて英語で確認したり、スムーズに答えたりすることができる。相手に応じて繰り返し伝えたり動作を交えたりイラストを示したりしながら、慣れ親しんだ英語でやりとりしている。 B 相手の英語表現を聞いて動作で示したり呟いたりしながら確認し、答えている。 C 相手が伝えようとしていることを理解しようと、英語表現を聞き取って動作で示したり、復唱したり日本語で話したりして確認しようとししない。	実際	・提示資料を見たり、友達に聞いたりしながら道案内や紹介をしようとする姿が見られた。 ・相手意識をもって、学校を紹介しようと、友達と伝え合っている姿が見られた。
個人間差異		手だて	効果
①到達度の違い		①・イラストや写真を提示し、視覚支援することによって、表現を理解しやすくする。 ・毎時間の導入部分で、既習した学習の振り返りをすることによって、既習表現の定着を図り、発話への自信につなげる。 ・毎時間の授業の流れを基本的に同じにし、板書で示すことで見通しをもって活動ができるようにする。 ・活動の中で既出・新出の言語表現を繰り返し聞くことから始め、徐々に発声する機会を増やしていくことで楽しく参加できるようにする。	◎ ○ △ ◎

②興味・関心の違い	②・タブレット端末を活用した活動やゲーム要素を取り入れた活動を行うことで、楽しく参加できるようにする。 ・相手意識をもつことで学習への意欲につながるよう、課外活動（総合的な学習の時間 台湾交流）と活動をリンクさせる。	◎ ◎
成果	・課外活動と本単元の学習をリンクさせたことや児童が紹介したい場所を自分で選んだことで、英語を用いて紹介しようとする意欲が高まり、積極的に活動に参加することができた。 ・児童が文章を考えて、英語を調べて書いたことで、知らない単語も話そうと努力をする姿が見られた。 ・相手意識をもたせることで、児童が自ら学びを深めようとする姿が見られた。	課題 ・外国語への抵抗感を無くすために、授業時間だけでなく、日常的に外国語に触れる機会を増やすと良い。 ・自信をもって発言できるように、ペアで伝え合う活動を増やしていく。

